

平成 30 年度
クリンピー応援隊に関する
アンケート結果



平成 31 年 2 月 いわき市 ごみ減量推進課

【調査目的】

クリーンピー応援隊に登録している団体・個人が、現在どのような場所を、どのくらいの頻度で活動しているのかを把握する。また、実際に清掃活動をしてみて、どのような効果があったと登録されている方が感じているのかを理解することで、今後の支援に役立てようとするもの。

【調査期間】

平成30年12月20日（木）から1月18日（金）まで

【調査対象】

クリーンピー応援隊登録の185団体（うち、個人参加57）、5,810名

【調査結果】

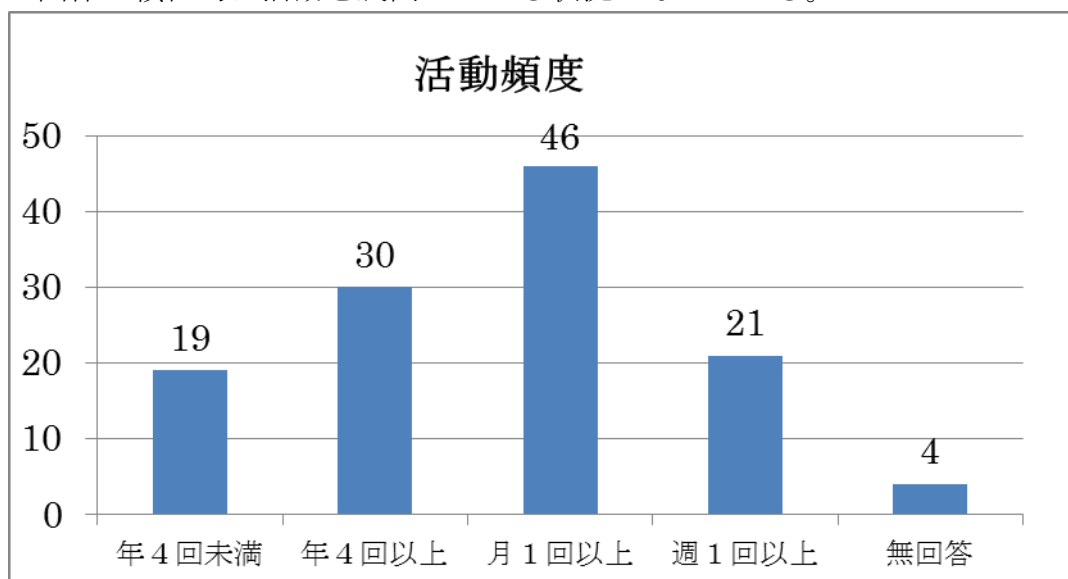
回答数：185団体中120団体

回答率：64.86%

◇ 清掃活動について

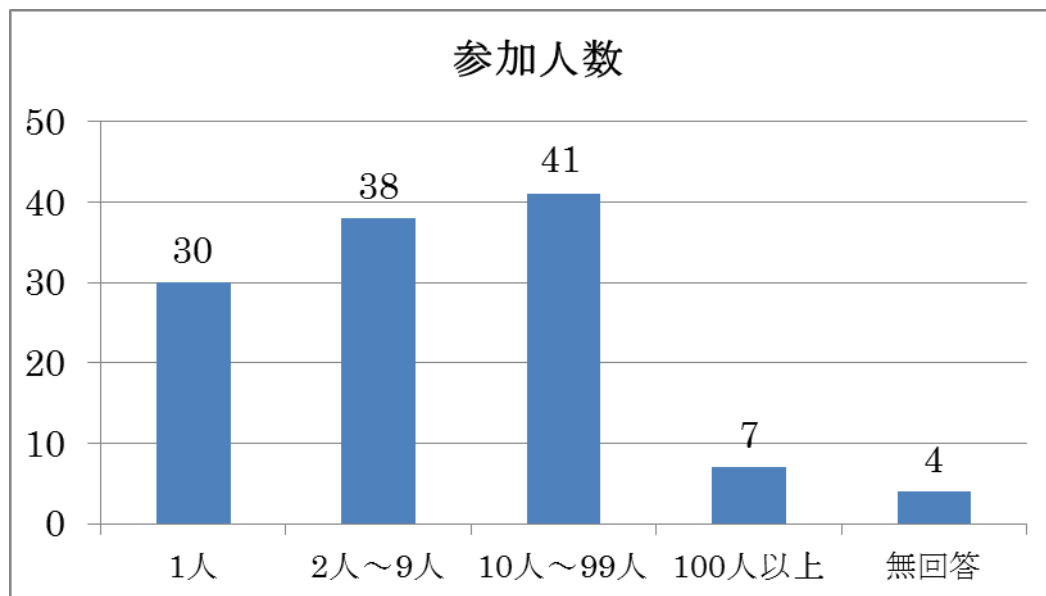
（1）活動頻度

活動頻度の平均回数は年間35.7回となり、1ヶ月あたり3.0回の活動をされているという結果になった。内訳をみると、月1回以上の団体が46団体、週1回以上（年48回以上）活動している団体が21団体と、半数以上の団体が積極的に活動を展開している状況となっている。



(2) 1回の活動に参加する人数

1回の清掃活動に参加する人数の平均は20人、クリーンピー応援隊の年間の参加延べ人数は約24,000人となった。

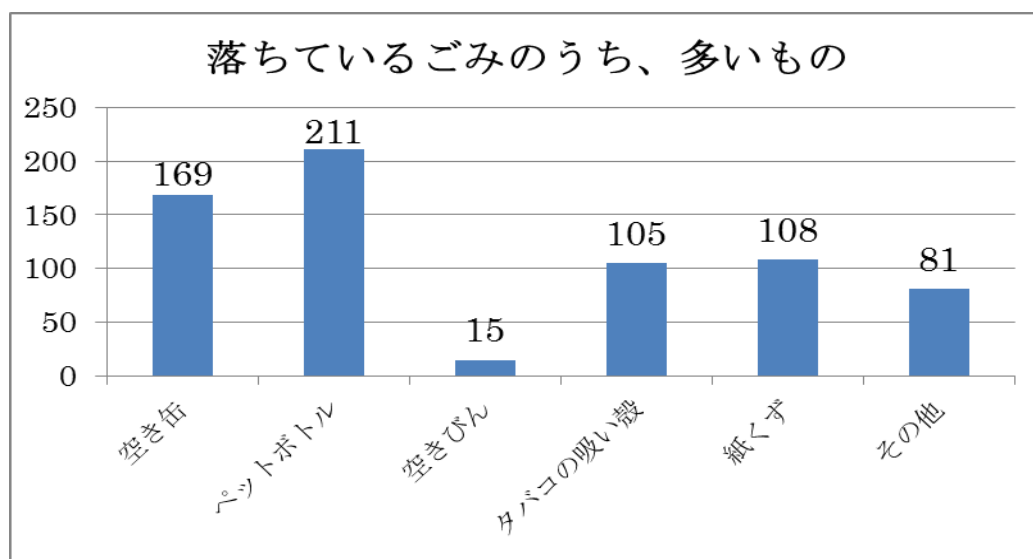


(3) 1回あたりのごみの量

清掃1回あたりのごみの量は、1団体あたり平均16袋となった。
(燃やすごみ・燃やさないごみを合わせた数)

(4) 落ちているごみのうち、多いもの

1位を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとしてカウントし、集計したところ、落ちているごみのうち、多いものはペットボトル、空き缶、紙くずの順となった。



◇ クリンピー応援隊の効果及び課題について

アンケートの結果、クリンピー応援隊の活動の効果として、「まち美化への意識が高まった」という回答が70票と最も多くなった。一方で、活動の課題として、「ポイ捨てごみが減らない」も68票と多く、美化活動を行っても、ごみをまた捨てられてしまうという現状が伺える。

ポイ捨てしない人づくり、ポイ捨てさせない環境づくりを目指すため、今後さらなる啓発を行い、ポイ捨てごみのないまちづくりをしていく必要があると考えられる。

